

## コピー

幸福だから生きる、という嘘  
不幸だから生きない、という欺瞞

無機的な空間に放り出され  
自由と言う名の「無」に茫然と立ちすくむ

解放されることと、軛に繋がれること  
その同義性

波は伝播し、交差し、あるいは減衰する  
次第に静まり、そして別の空間に生起する

ある「種」が繁栄し、食い尽くしたとき  
それ故に、彼らは滅びたという

単色に塗りつぶされたように見えて  
かすかな陰影があり、吸い込まれる

我々は愚直さを従えることを好むらしく  
絶望を忌み嫌う

我々の選択しうるものは限られている  
幻惑の中に留まろうとしても無駄だ

外部委託するという破壊、分断  
それは即ち自己解剖の観察である

監視、近似、コピー  
その果てしない繰り返し

冥界に追放された神々は首を振る  
まるで己を鏡写しにした下界の様に

(2011.11.30)